

RIS211E

プライマー（接着増強剤）

1 はじめに

RIS211Eは、EVA（酢酸ビニル・エチレン共重合体）系エマルジョンを主成分とした、高性能プライマーです。下地の躯体コンクリートにコンクリートやモルタルを打継ぐ際に、躯体コンクリートとの接着性を向上させます。また、下地の躯体コンクリートにコンクリートやモルタルを打継ぐ際のコンクリート表面への吸水を抑制することができます。

RIS211Eは、コンクリート打設後の初期材齢の急激な乾燥を防ぐために塗膜養生剤として使用することができます。

RIS211Eは、接着力だけでなく、耐水性、耐アルカリ性に優れています。

2 特長

- 接着性に優れています。
- 耐アルカリ性が良好なので、コンクリート、モルタルなどのアルカリ性物質に対して安定です。
- プライマーの皮膜形成後のモルタル仕上げ時のコテ塗り性が良好です。

3 用途

- コンクリート面の打継ぎ時の接着力向上と躯体コンクリートの吸水防止
- コンクリート打設後の初期養生

4 性状

主成分	変性酢酸ビニル-エチレン系共重合体エマルジョン
固形分	45～48（質量%）
外観	乳白色液体
粘度	800～1200（mPa・s）
pH	4.5～6.5
密度	1.06（g/cm ³ ）
低温安定性	良好

5 荷姿

4kg（ポリボトル）・18kg（缶）

6 物性（一例）

		断面修復材				吸水量※2 (g)
		RIS321	RIS322	スプリード	RISショット	
接着強度 (N/mm ²)※1	7日	1.5	1.8	1.7	1.7	
	28日	1.8	2.0	2.5	2.0	

※1 コンクリート歩道板にプライマーとしてRIS211E3倍希釈液を150g/m²塗布し、各種断面修復材を打ち継いだ場合。

※2 日本建築工学会規格案M-101「セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準案」に準じて吸水試験を行った。

7 使用方法

- 下地コンクリートの清掃を十分に行ってください。
- RIS211Eを水で3倍に希釈(RIS211E:水=1:2)して、刷毛、ローラー、スプレー等を用いて塗布して下さい。
- 標準塗布量はRIS211Eの3倍希釈液で150g/m²です。
(下地の条件によって、塗布量は変化します。)

8 使用量

使用場所	塗布量	塗布回数	塗布可能面積
コンクリートの床・壁・天井	1回につき150g/m ²	1回	360m ² /18kg缶
気泡コンクリートの床・壁・天井		2回	180m ² /18kg缶

9 使用上の注意

- 下地面の塵や埃、油類、レイタンスなどは完全に除去、清掃して下さい。
- 下地面が水で濡れている場合には、プライマーの浸透が阻害されるので、表乾状態まで乾燥させて下さい。
- 水の配合量は必ず守って下さい。濃度が高かったり、塗布量が多すぎる場合には、皮膜が厚くなるため、剥離の原因となります。また、濃度が低かったり、塗布量が少なすぎる場合には、密着力が低下します。
- 塗布後、約60分で皮膜ができますが、温度、湿度、風などの影響により皮膜ができる時間は変化しますので、皮膜ができてからコンクリート・モルタルを打ち継いで下さい。
- 使用した、器具はできるだけ早く水洗いして下さい。
- 気温が0℃以下の場合には使用を避けて下さい。
- 使用後は、缶を密封して保管して下さい。

10 保管上の注意

- 0℃以上の冷暗所に保管して下さい。



警告



- ・ 目に入れないこと。目に入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。
- ・ 皮膚に付けないこと。・ 鼻や口に入れないこと。
- ・ 保護メガネ、ゴム手袋を着用すること。・ 子供に触れさせないこと。

データ等記載内容についてのご注意

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性については、貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。
これらの資料は、当社の担当部門にご用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。